

## 研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 医療従事者における COVID-19 院内感染の評価と感染対策戦略

[当院研究責任者] 部署名 感染症内科 氏名 武藤 義和

[研究の目的] 本試験は公立陶生病院に受診もしくは入院した患者と病院職員においてカルテデータを用いるもしくはアンケートを行う事で、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への院内での感染事例を検討して、その感染リスクを評価する後ろ向き観察研究であります

### ■ 研究の対象となる方

2020年3月から2022年9月に公立陶生病院を受診や入院した患者および職員に対して、COVID-19を発症した例を中心としたアンケートの施行やカルテ情報の評価を行います。

### ■ ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生理検査結果、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

### ■ 研究の背景・目的

2019年にはじまった新型コロナウイルス感染症は多くの感染者をだし、当初は感染力も重症化率も高く、治療法もない疾患であり多くの医療現場が疲弊に陥りました。医療逼迫の大きな原因となっているのは病床不足で有り、新型コロナウイルス感染症がどこの施設でも対応できるようにするためには医療者間におけるきちんと疾患の理解が必要です。感染は感染していないと思っている人や発症前の人から起こる事がほとんどであり、陽性者はきちんと対策をしていれば感染を受けることはないと言う事を明らかにするために本研究を行います。

### ■ 個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■ お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101

研究代表者 感染症内科 武藤 義和